



## アドベンチャーワールド 高病原性鳥インフルエンザ対策について

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、日本国内での高病原性鳥インフルエンザの発生状況を受けて2022年11月4日（金）より、飼育鳥類を疾病から守るために以下の対策を講じることを決定いたしましたのでお知らせいたします。

### 【アドベンチャーワールド 鳥インフルエンザ対策について】

期間：2022年11月4日（金）より

内容：①鳥類が出演するイベント、アトラクションの内容変更及び休止

- ・ゴシキセイガイインコおやつタイム（ふれあい広場）
- ・ふれあい広場の鳥類の餌販売
- ・サファリワールド エミューの餌販売

### ②鳥類の展示休止

- ・サファリワールドの鳥類すべて
- ・ふれあい広場及び、「鳥の楽園」の鳥類すべて

※スタッフ及びゲストの足裏消毒、通行車両の消毒などパーク内の消毒を引き続き徹底します。

※8種のペンギンは海獣館及びアニマルランドでご覧いただけます。

アニマルアクションでの鳥類出演は継続いたします。

※今後の鳥インフルエンザ発生状況によっては、さらなる対策を検討いたします。

### 【アドベンチャーワールドで暮らす主な鳥類について】

種類：44種

飼育羽数：約850羽

- ・ペンギン科8種
- ・ダチョウ、エミューなどの走鳥類
- ・ベニコンゴウインコ、ゴシキセイガイインコなどのオウム目
- ・ハリスホーク、ハクトウワシなどの猛禽類
- ・アヒル、ガチョウなどの家禽